

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	運営理念を事業計画に記載し、共有し、実践につなげているが、「合い言葉」を明文化し、更に向上していくよう努める。	代表取締役及び管理者、職員がより良い介護サービスを共有し目指すために、新年度に向けてグループホーム独自の事業計画を作成する。	グループホームの独自色を出すため、運営推進会議や各職員から要望・推進事項などを取り入れて事業計画を作成する。また、計画を開示し周知を図り、介護支援につなげていきたい。	6ヶ月
2	10	ご家族様との交換ノートや面会時などに、ご要望やご意見を伺ってサービス計画書を作成しているが、サービス計画書の変更の時期であることをお知らせした上で、ご意見やご要望を伺う必要がある。	サービス計画書作成前に、変更の時期であることをお知らせし、ご家族様や利用者様のご意見やご要望を伺い、それを反映させてサービス計画書を作成する。	サービス計画書作成前に、変更の時期であることを面会時や電話、交換ノートでお知らせし、ご家族様や利用者様のご意見やご要望を伺い、それを反映させてサービス計画書を作成する。	6ヶ月
3	13				ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。